■柴田錬三郎 小説家。南方戦線から奇跡的生還、直木賞後、{週刊新潮}創刊に「眠狂四郎」連載し「週刊誌・剣豪ブーム」。

しばたれんざぶろう

ロシア革命・1917= 岡山県の現在の備前市鶴海で中地主の旧家に生まれた。父は鑄木清方と同門の日本画家。長兄は12年、次兄は27年上。

大暴落・・・1920= 3歳：父が早世し、母が夫に代わって家をさき盛りする。

原敬首相暗殺1921= 4歳：

日本時代始・1926= 9歳：

鶴山尋常小学校から岡山県立第二中学校へと進学。

満州事変・・・1931=14歳：

帝人疑獄事件1934=17歳：慶應義塾大学医学部予科に入学。半年後、文学部予科に移る。

芥川直木賞始1935=18歳：

予科時代は君尾哲三というペンネームで同人誌に小説を発表。

日中戦争始・1937=20歳：

健保+総動員 1938=21歳：

予科在学中、_{三田文学}に処女作「十円紙幣」を発表。

大学本科で支那文学科(中国文学科)を専攻し、魯迅に傾倒した。

大政翼賛会・1940=23歳：

結婚して妻の家を嗣ぎ、斎藤姓となる。妻の兄はリラダンの邦訳で知られる仏文学者・斎藤磯雄。卒業。

日米開戦・・・1941=24歳：

慶応大学支那文学科卒業し、日本出版協会に勤めるうち、

年金+総武装 1944=27歳：

召集を受け、広島宇品の曉部隊に入隊。備砲隊付きの衛生兵として輸送船に乗る。

敗戦・・・1945=28歳：

南方戦線バシー海峡にて撃沈され、海上漂流七時間余を経て、奇跡的に救助され、

戦後、復職して{日本読書新聞}復刊に尽力する傍ら、アルバイトとしてカストリ雑誌に通俗小説を書く。

三大事件・・・1949=32歳：

日本出版協会(日本読書新聞)を辞し、_プロ作家の道へ。生活のため、少年読物を月一冊平均にて執筆。

朝鮮戦争始・1950=33歳：

独立回復・・・1951=34歳：

*{三田文学}に発表した「デスマスク」が第25回芥川賞候補に挙げられ、

メデー事件・1952=35歳：

*同じく{三田文学}に発表した「イエスの裔」で第26回直木賞を受賞。

TV放送始・・・1953=36歳：

国連加盟・・・1956=39歳：

_創刊された{週刊新潮}に「眠狂四郎無頼控」を連載、ヒットして剣豪小説ブームを生み、一躍人気作家。

なべ底不況・1957=40歳：

「剣は知っていた」を連載するなど、_以後一貫して大衆文学に徹する。

インスタラーメン 1958=41歳：

*「眠狂四郎無頼控」が終了、「眠狂四郎無頼控」全7巻が刊行される。

安保闘争・・・1960=43歳：

「柴錬立川文庫」「赤い影法師」、

タイタイ病始・1961=44歳：

「図々しい奴」など、話題作も多く、

全国総合計画1962=45歳：

東京リビック 1964=47歳：

霞ヶ関ビル・1968=51歳：

「柴錬立川文庫」。「英雄ここにあり」で、

大阪万博・・・1970=53歳：

_第4回吉川英治文学賞を受賞。

ドルショック・・・1971=54歳：

石油ショック1973=56歳：

角栄金脈辞任1974=57歳：

NHK長篇人形劇「真田十勇士」を書き下ろす。

成田衝突・・・1978=61歳：

肺性心となり、慶應義塾大学病院で、_没した。